

豊 剣 だ よ り

平成 28 年 3 月 13 日

豊橋市剣道連盟定期総会特別号

豊橋市剣道連盟

会長 森谷義弘

心を磨く剣道を

早春の候、会員の皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成 27 年度の事業は、会員の皆様方の絶大なるご支援、ご協力をいただき無事に終了することができましたことを深く感謝申し上げます。

本年度昇段審査では剣道六段に富田仁美先生・小松弘昌先生・松尾武先生・高柳利水先生が見事合格、他にも多くの方々が昇段されました。

また長年にわたり各地区の剣道発展に貢献された方々に「地区功労者表彰」が東三河剣道連盟より行われ、豊橋では梅澤明良先生が表彰されました。そして愛知県体育協会：スポーツ功労賞に荒木詮們先生が、また豊橋市体育協会：体育功労賞に白井孝一先生が、豊橋市体育協会：スポーツ奨励賞に永井和弘先生と富田仁美先生が受賞されました。

昇段・表彰されました方々、誠にありがとうございました。お祝い申し上げます。

さて、今年の大会で心を打たれる行動を目にしました。それは 1 月 31 日に豊橋市武道館で行われた、豊橋南ライオンズ旗争奪豊橋市少年剣道大会の出来事でした。

豊橋市東部中学校の生徒さんが、剣道場の入り口におかれた靴の整理をしていていました。

この行動は昨年も同じ東部中学校の生徒さんが行っていました。

剣道を修行する中で、このように立派に成長している生徒がいることを、剣道人として誇りに思います。

剣道は「礼に始まって礼に終わる」と言われているように、特に礼儀作法を重んじ厳格に行われてきました。

人の心は、形に現れるものです。

愛知県剣道連盟の「剣道の訓え」の目的に有ります。

「心を磨く・身体を鍛える・技術を習得する」

その第一にある「心を磨く」を稽古の目標とし、常に相手の人格を尊重し、内には心からの感謝、外には端正な姿勢を持って礼儀作法を正しくすることが、大切なことだと思います。

今後も会員の皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。